

HITO NEWS

H I T O
M E D I C A L
C E N T E R
N E W S

2016.1

No.10

新年度ご挨拶

糖尿病センター開設

シリーズ4 疾病についてよく知ろう「がん」

きょうのHITOめし

TOPICS

寄り添うように



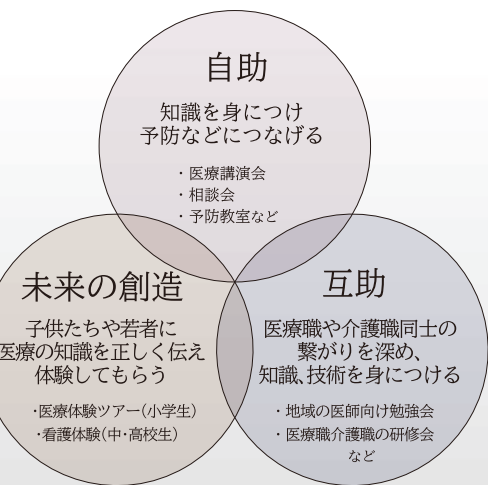
地域の皆様に
安心して歳を
重ねていただくために

— 地域包括ケアシステム実現に向けて —



新春のお慶びを申し上げます。
皆さまのおかげを持ちまして、開院後
3度目の新年を迎えることができました。
この3年間は、救急医療や四疾病治
療の強化、病床機能分化（患者さまの状
態に応じた医療が提供されるよう、それ
に見合った人員や設備を整え病床の役
割を分担すること）を行い、地域の皆さ
まが安心して歳を重ねられるよう努め
てまいりました。

システム」の実現に向けて、行政・市内医
療機関の皆さま方と協力体制をとり、
市内での役割を果たしてまいります。
次へのステップとしては、地域の皆さ
まが必要としていることに耳を傾け、一
緒に地域の問題について話し合う議会
や研修の場を、提供させていただきたい
と考えております。



【地域包括ケアシステム「自助」「互助」への取り組み】

2015.11
糖尿病
センター
開設



糖尿病センター長
糖尿病内科 部長

おおき まき
扇喜 真紀

患者さまの
ライフスタイルに
寄り添った治療を。

— 〆 挨拶 〆 —

四国中央市における糖尿病患者
者の数は約二千名と推測され、予
備軍を含めると五千名以上に上
り、この数は今後も増えていくこ
とが予想されます。

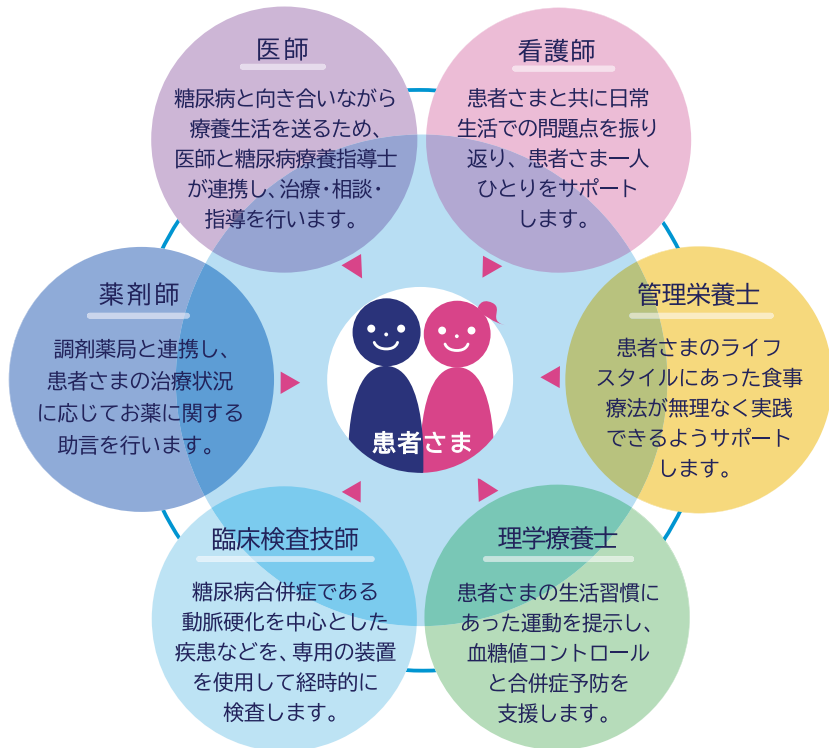
HITO病院では、平成21年度
愛媛県作成の宇摩圏地域医療
再生計画において、当院の役割と
して糖尿病センター設置運営が
掲げられたことに基づき、開院当
初より糖尿病専門医を中心に、療
養指導の資格を持つ看護師・薬
剤師・管理栄養士・理学療法士・
検査技師からなる糖尿病チーム
による多職種での活動を日々
行っております。

当院では平成25年4月の開院
から今日に至るまで、センターの
開設に向けて、様々な取り組みや
実績を重ねてまいりました。

実績	H25年度	H26年度	H27年度
糖尿病療養指導士によるフットケア外来	77件	102件	36件 ※7月現在
糖尿病専門医・管理栄養士等による「糖尿病教室」	7回	9回	5回
糖尿病教育入院	27人	41人	7人 ※7月現在

糖尿病センターの特徴

チーム医療を行いながら、患者さまの「いきる」を支える。



チーム医療とは
多職種のスタッフが患者さまの病状に応じてチームを組み、それぞれの専門分野での経験や知識を集約することにより、患者さま一人ひとりにあわせた総合的な医療を提供することです。

多職種協働のチームで患者さまの生活スタイルに寄り添う

糖尿病療養スタッフとして、糖尿病担当医2名（うち、糖尿病専門医1名）、看護師7名、管理栄養士3名、薬剤師2名、理学療法士4名、臨床検査技師1名、医療ソーシャルワーカー2名が診療に携わっています。
そのうち、12名が糖尿病療養指導士の資格を有しています。



かかりつけ医との連携による診療体制

「糖尿病センター」では、かかりつけ医の先生方や、地域の医療機関と連携した診療体制をとることによって、より専門的な治療を必要とする患者さまに最適な治療を受けていただくことが可能になります。

当院では、インシュリン導入や血糖コントロール等についての指導の他、糖尿病療養指導士を含めた多職種チームにより、薬物治療や食事療法、運動療法など様々な角度から療養指導を行います。その他、糖尿病教育入院も行っており、患者さま一人ひとりの病状や生活スタイルにあわせた治療を提示いたします。

「糖尿病センター」での治療を終えた後は、これまでどおりかかりつけの医療機関にて継続して診察を受けていただくようになります。



糖尿病教育入院とは

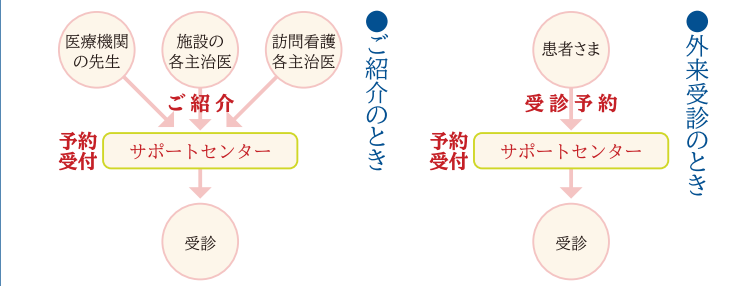
生活習慣病の代表である糖尿病は、その発症や悪化に、食事や運動習慣、日常生活、仕事などの生活習慣が深く関係しています。糖尿病と上手につき合うためには、生活全般を見直し、改善すべき点を見つけ、それらを良い方向に変えていくことが必要不可欠となります。

当院の「糖尿病教育入院」では、患者さま一人ひとりの病状や生活習慣にあわせて次のような療養指導を行っております。

- 食事療法・運動療法・薬物治療による血糖コントロール
 - 合併症の状態の評価、病状に応じた治療
 - 糖尿病治療に必要な知識や方法を学び、退院後の糖尿病の療養方法を身につける
- ※入院期間は1〜2週間を基本としていますが、2〜3日の短期入院も行なっております。患者さまの病状や、ご希望にそったプランを提示いたします。

予約や受診の流れ

糖尿病センターは予約制となっております。予約は「サポートセンター」にて受付けております。



予約電話受付（サポートセンター） 予約電話受付時間／（月～金曜日）8:30～16:30（第1・3土曜日）8:30～12:00
● 直通電話番号 **0896-58-2226** にて、ご予約を承ります。「糖尿病センターの受診予約」とお伝えください。

シリーズ
4 疾病について
よく知ろう

当院の
がん治療へのとりくみ

当院では、内科・外科・緩和ケア内科など複数の診療科や多職種と連携をとりながら治療を行う、チーム医療の体制を整えております。

また、「初診から治療・支援完了まで」できるだけ地域でカバーできるように体制づくりもしています。

地域との連携

患者さまのがんの種類や状態に応じて適切な治療をするために、他の病院とも連携しています。

がん治療の
連携病院

- 四国がんセンター
- 愛媛大学医学部附属病院
- 住友別子病院
- 三豊総合病院
- 四国中央病院
- など

がん

脳卒中

急性心筋梗塞

糖尿病

普段の治療はできるだけ当院で行い、特別な検査・診断・治療が必要な際には、上の表にある病院と連携しています。

さらなる関係強化の活動として、愛媛大学医学部附属病院と住友別子病院の3病院合同で治療検討会議を開始する予定です。

がん支援看護師がいます

治療を行なっていく中で、治療の種類によって診てもらう医師が変わったり、特別な治療の場合には、病院も変わることがあります。そういった、「誰に相談すればいいのか分からない」状況でも、当院では12名の「がん支援看護師」が「初診から治療支援完了」まで相談に応じます。

当院での治療の流れと
がん支援看護師



緩和ケア病棟は

「一時的な入院

も可能です



緩和ケア内科 部長
ささき ひろき
佐々木 宏起

こんなときにも
入院が可能です

緩和ケア病棟は、痛みなどの苦痛を緩和する治療を中心に行うほうがよい時期であれば、いつでも入院が可能です。

また、介護に疲れたご家族さまが休息したいときや、看病ができないときなど、1泊2日からでもショートステイ的なレスパイト入院が可能です。

短期入院でも、精神科医や臨床心理士が精神的なサポートを行います。

レスパイト
入院

介護の休息が
必要な時

冠婚葬祭などで
看病が
出来ない時

チーム医療でがんを診ます

がん治療には、たくさん専門職が集まった「がん診療チーム」にあたります。チームは、様々な診療科の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、臨床検査技師、放射線技師、診療情報管理士、医療クラーク、緩和ケアチームなどで構成され、治療方針を決める治療検討会議を行い、患者さまの心身を総合的にケアします。



▲がん診療チーム

▼当院で行う治療（紹介するかどうかは、治療内容と患者さまとの相談で決まります）

	内視鏡手術	手術	化学療法	緩和医療	放射線治療 (放射線化学療法含む)
食道	○*	他院へ紹介	○	○	他院へ紹介
胃・大腸		○*			
肝胆膵		腹腔鏡手術：○*			
乳腺		△*			
甲状腺		△			
脳腫瘍(悪性)		○			
肺		△	△		
血液・頭頸部・小児		他院へ紹介	他院へ紹介		

△：内容により他院へ紹介
*：内視鏡手術は香川大学医学部附属病院からの応援、手術は愛媛大学医学部附属病院等からの応援で実施

からだの負担が少ない がん治療と早期発見



消化器内科部長
おおぎ ともひろ
扇 喜 智 寛

早期発見しやすい 内視鏡の機能「NBI」

内視鏡センターでは、最新の内視鏡を5台以上整備しており、鼻や口、肛門から入れるどのカメラでも小さなポリープや早期の癌であれば切除可能です。内視鏡には、「NBI」という特殊な光で照らすことで癌を発見しやすくなる機能を搭載しております。

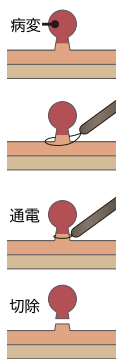


異型血管が見え、癌とわかる

からだに負担の少ない
「がん治療」が可能です

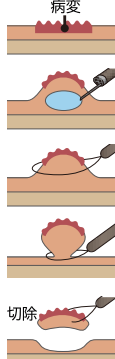
1 ポリペクトミー

ポリープやキノコ状の癌等を切除する方法です。病変の茎の部分にワイヤのループをかけて締め、高周波の電流を流して焼き切ります。



2 内視鏡的粘膜切除術(EMR)

ポリープやキノコ状の癌等を切除する方法です。病変の茎の部分にワイヤのループをかけて締め、高周波の電流を流して焼き切ります。



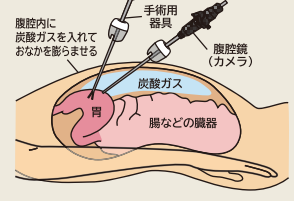
3 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)

病変の大きさなどから①や②で切除が難しい場合の方法です。病変の周りの粘膜を専用のナイフで切開したあと病変の下にある粘膜下層をめくるように剥がしていき、方法です。



腹腔鏡下切除術

内視鏡では切除できない場合に実施します。お腹を切開しない低侵襲手術です。



新しい 抗がん剤

乳がん・肺がん・
大腸がん・胃がん

従来より副作用が
少ないお薬です

これまでの抗がん剤の多くは、がん細胞を死滅させることで治療の効果を得てきました。しかし、がん細胞だけでなく正常な細胞も攻撃してしまつたため、重い副作用が出るがありました。近年、研究が進み、がん細胞の増殖や転移を行う働きをする部分だけを狙い撃ちできる「分子標的薬」という新しい抗がん剤ができました。

注意

これは、正常な細胞への作用が少なく従来より副作用が軽くなるため、患者さまの日常生活を損なうことなくがん治療を続けていくことが可能となりました。

従来の抗がん剤に比べれば重い副作用は少ないものの、まったくないわけではなく、薬によって特有の副作用があります。また、同じ薬でも人によって異なる副作用が出ることもあります。症状が出たときには、様々な職種チーム医療で支える体制を整えておりますので、左記までご連絡ください。

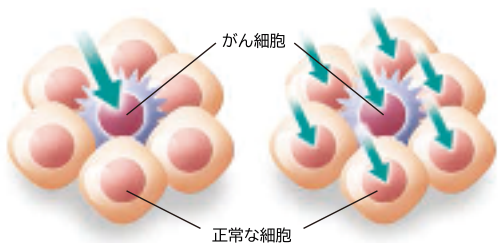
外科(がん薬物療法)部長
化学療法室 室長

いのうえ なおや
井上 直也



新しい抗がん剤
(分子標的薬)

従来の抗がん剤



新しい分子標的薬

乳がん カドサイラ®

大腸がん スチバーガ®

肺がん ザーコリ®

胃がん サイラムザ®

お問い合わせ窓口

0896-29-5320

「外来で化学療法を受けている〇〇です」とお伝えください。

「健康フェスタ」
平成27年11月7日(土)、「健康フェスタ」を開催し、100名近くの地域の方にご来場いただきました。これは、世界糖尿病デー(11月14日)に合わせて糖尿病を学ぶイベントとして毎年開催しているもので、健康運動レッスンや健康相談、健康食品の試食などを通じて、参加者に糖尿病の



「第3回医療連携懇話会」
平成27年10月29日(木)、「第3回医療連携懇話会」を開催しました。これは、地域の医療機関や行政の皆さまをお迎えして、情報共有や意見交換をすることを目的に、一昨年から開催しているもので、今年で3回目の開催となりました。お互いの医療機能をよく知った上で、連携していくことの重要性を再確認できる場となりました。高齢になっても住み慣れた地域で住み続けることができるよう、必要なサービスを一体的に提供する仕組み「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、これからも顔の見える関係作りを努めます。

「第6回愛媛医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会」
平成27年11月15日(日)、HITO病院にて「第6回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会」を開催しました。県内から多くの医療従事者にご参加いただき、盛会に終えることができました。今年のテーマは「地域協働の医療を目指して〜高齢化社会を見据えた医療連携〜」で、高齢化社会を見据えた支援や連携への取り組みを知り、勉強させていただきました。



愛媛医療マネジメント学会の様子



エネルギー/106kcal
塩分/0.8g

金目鯛の蒸し山かけ

やわらかく蒸しあげた金目鯛に、長芋をかけでお召し上がりいただきます。口当たりもよく、食欲不振のときでも食べやすい、あっさりとした味わいです。年末年始で疲れた胃を、やさしくいたわってくれる一品です。あたたかい豚汁をそえて、どうぞ召し上がれ。



材料

- 赤魚 70g
- 長芋とろろ 30g
- うすくち醤油 小さじ 1/2
- 料理酒 小さじ 1/2
- みりん 小さじ 1/3
- きざみのり お好みで
- 練りわさび お好みで

作り方

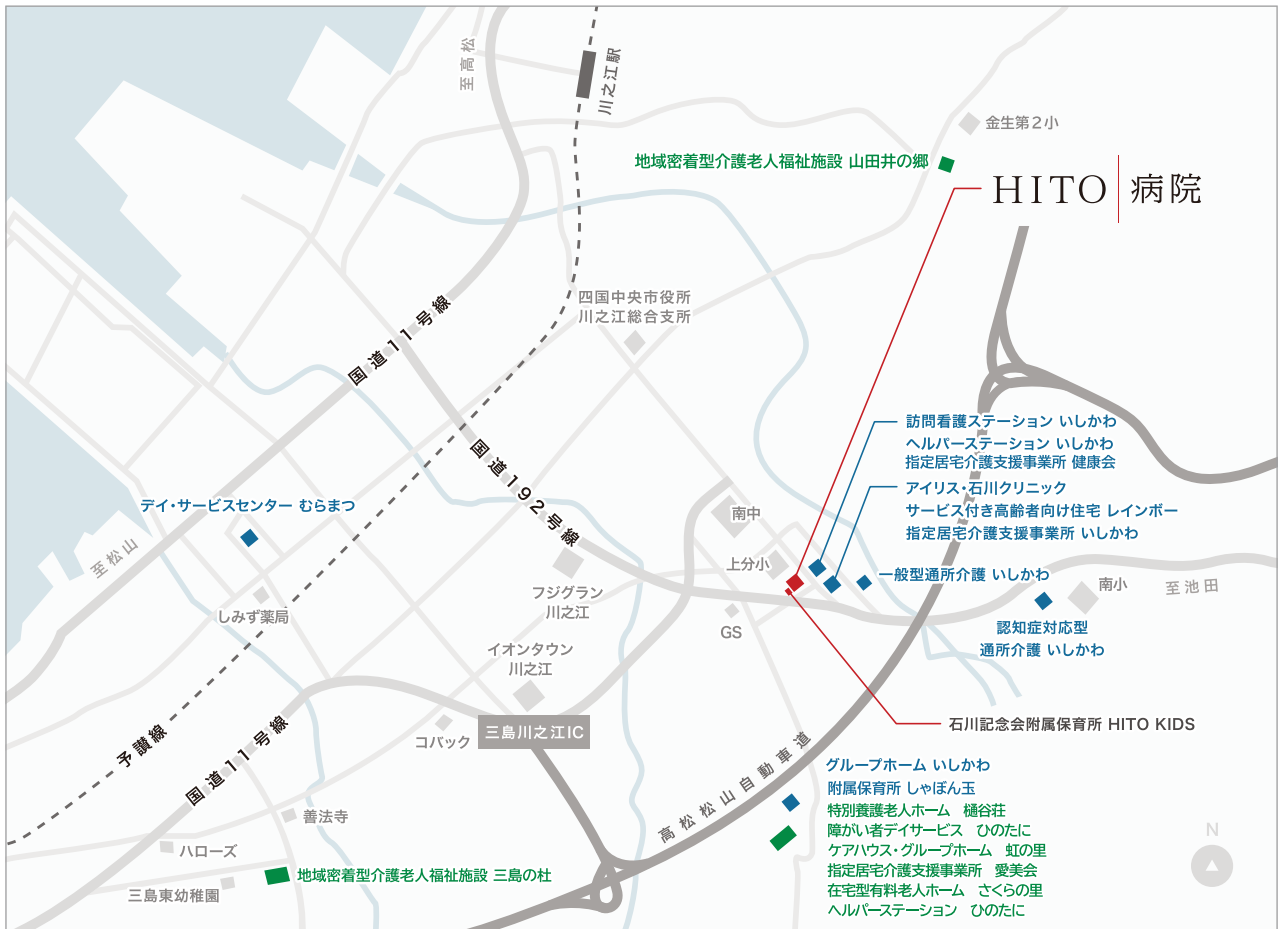
- ① 赤魚の切り身に酒をふりかけて、蒸し器で強火で10分蒸す。
- ② 長芋はなめらかにすりおろし、うすくち醤油とみりんは煮立たせ、とろろと混ぜあわせる。
- ③ ①の魚にかけてできあがり。
- ④ 最後に花形人参、きざみのりで仕上げる。わさびはお好みでどうぞ。

Pick Up! 食材

長芋



長芋には亜鉛やカリウム、鉄などのミネラル成分、ビタミンB群、ビタミンCなどが豊富に含まれています。そして、ムチンというネバネバ成分が体内に入ることによって、タンパク質の吸収を向上させます。このムチンこそが、疲労回復に大きな役割を担っています。



HITO 病院
Official Site

Facebook

美容外科 Be
Facebook



※社会医療法人とは、公的機関に準ずる機関で、
営利を目的としない公益性の高い医療法人のことです。

HITO 病院

※
社会医療法人石川記念会 HITO 病院

〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町 788 番地 1

TEL: 0896-58-2222 FAX: 0896-58-2223 URL: hito-medical.jp